



ふじ美が原

富士見中学校
平成23年9月26日

第2回 白鈴祭 「一喜一結」 ~深めよう絆 広めよう輪~ 一步深まった”絆”、一步広がった”輪”

第2回白鈴祭が16日、17日の2日間にわたって開催されました。昨年度は、開校1年目ということで全校の力を結集しようと「一年目の生徒会を華に例えて華やかに盛り上げよう。そして、私たちのスタートラインには、一年目の生徒会で良いスタートを切ろうという意味が込め」て開催されましたが、今年は、昨年の礎の上に2年目として「一人ひとりが白鈴祭を成功させるために活動することを通して、お互いのことを思いやり、協力し合うことで、クラスの輪、学年の輪、全校の輪を広げ、白鈴祭を創りあげていきたいという思いを込め」、自分一人だけではなく、仲間（クラス、学年、全校）を意識して『みんなが』『みんな』で創り上げられた白鈴祭だったと思います。そこで、数回にわたり、白鈴祭の一端を紹介します。



【ステージ発表 1年AT】

これから植物講座の発表を始めます。

植物講座では、1.アツモリソウが育つような環境を山野草園に作りたい。2.富士見の植物のための活動をしたい。3.高山植物について調べたい。という願いのもとに活動しています。そして、これまで行ってきたのは 1.スズランの世話 2.アツモリソウの定植 3.アツモリソウの調査 4.お気に入り高山植物の調査です。

まず、すずらん世話についてですが、すずらんはグラウンド前の花壇に植えました。すずらんには月曜日～金曜日まで決まった人が交代で水をあげています。水やりをしていると雑草が目立ちます。これからは草抜きもしていきたいと思っています。

次に、アツモリソウの定植についてですが、山野草園にアツモリソウが育つ環境を作るため、昨年度先輩方の植えた場所を調べてみました。昨年先輩方は、アツモリソウを100株以上植えてくださいました。しかし、今年調べたら2株しか残っていませんでした。なぜだろう？原因を考えました。そうするとスギナが原因にあげられてきました。スギナは酸性の土壌に生え、アツモリソウはアルカリ性の土壌に生えていたためスギナが悪いのではないのかと考えました。

そこで、今度は僕たちで、土は石灰を加えてアルカリ性にした土壌にアツモリソウを30株ほど中庭に植えました。これが成功すれば、山野草園の環境作りが一步前進すると思います。来年も芽が出るようにしっかり世話をしたり、さらにアツモリソウにとって良いことはないか調べていきたいです。

次にアツモリソウの調査についてですが、私たちはCTでニチレイガーデンの方々にアツモリソウについてお話をお聞きしてきました。アツモリソウは、ラン科の多年草で 葉は3～5枚 大きさは20～40センチあります。種は、花の付け根にあります。この種は、小さいので顕微鏡で見ないとよく見えません。アツモリソウの種は、菌により育てられます。発芽するとこのようにもやしのような見た目になります。根は、複雑にからみあっています。アツモリソウは、ハウスの中で大切に育てられています。スクリーンの写真にある白いつぶつぶしたものは、断熱効果抜群のパーライトです。なぜ、パーライトが必要なのかというと、アツモリソウにはすずしい場所が適しているためです。土は、クリプトモスという土を利用しています。この土もまた、断熱効果にすぐれて、水はけも良いです。なお、アツモリソウは共生菌を炭素源としてよく育つといわれており、菌の多い植物(赤松・ギボウシ)などを近くに植えると良いそうです。環境としては、斜面に植えてあり、涼しくて日が当たり、水はけのよい場所が適しています。

アツモリソウは、絶滅危惧種に指定されていてとても貴重な花といえます。もし盗んだ場合、日本では、罰金もしくは懲役になってしまいます。アメリカでは、猟銃を持って警備を行うほど世界でも大切にされています。

次に高山植物についてですが、入笠山で見つけたお気に入り植物についてまとめたものを多目的ホールに展示してあるのでご覧ください。

感想として、スズランの世話では、忙しくても毎週がんばってきたのでよかったです。草抜きもがんばれたのでこれからもがんばっていききたいです。アツモリソウ定植では、とても小さいアツモリソウの苗を大切に植えることができました。これからもアツモリソウが、どうしたらうまく育てられるのかみんなで考えたり調べたりしていきたいです。

ニチレイガーデンでは、知識の少なかった私たちに種を見せてくれたり、いろいろ教えていただいたりしました。とても貴重な学習でした。

これで植物講座の発表を終わります。



1年AT 植物講座

アツモリソウの育て方

- パーライト(白い粒)
- …断熱効果
- クリプトモス(土)
- …水はけがよい
- 断熱効果



【ステージ発表 3年ニュージーランド研修報告】

これからニュージーランドホームステイの記録を発表します。

私たちは3月18日から3月29日までニュージーランドにホームステイに行きました。行くまでにみんなで集まり8回研修をしました。英会話をシャロット先生に教えてもらったりみんなで発表する踊りや歌を練習していくうちに楽しみになっていました

3月18日

18日の朝早くにコミュニティープラザに集まり出発の会をし、1人ずつ決意を発表しました。私はニュージーランドと日本の文化の違いを知ること、そして牧羊犬を見たいということをお願いしました。そのあと寂しかったけど家族と別れバスにのり成田空港にいきました。

3月19日

長い空の旅を終え、NZに到着。始めて見るNZの地は予想以上に緑が多く海もきれいで驚きました。ホストファミリーとの初対面では、みんな緊張していましたが、NZの方は、みんなフレンドリーで、すぐに打ち解けることができました。これからのホームステイがとても楽しみにになりました。

3月21日

午前中はネルソン市内を展望し、博物館に行きました。展望台から見る景色は海も見えてとてもきれいでした。博物館ではNZの歴史などに関係するものが多くありました。日本では見られないようなものもあって楽しかったです。お昼の後は友達と買い物をしました。午後はみんなでマクミラン陶芸工房に行きマグカップの絵付けをやりました。

3月22日

22日に行ったコリンさんの牧場は日本ではめったに見られない様な土地の広さに驚きました。羊の毛刈りも体験させてもらい貴重な経験となりました。その日は他にもミニボーリング・ミニゴルフ・ウォータースライダーをやってペアの人とたくさん遊んで友情が深まりました。

3月23日

この日はワイメアカレッジに行きました。日本語の授業を受けたりバレエをしたりして楽しみました。ワイメアカレッジには小中高の学生が集まっていたり、いろんな人が学んでいました。

3月24日

この日はフェリーに乗ってハイキングをする島まで行きました。フェリーはとても速くて、風が気持ちよかったです。ハイキングの道は、森の中の急な道だったのでとても大変でした。しかしホストファミリーの人と頑張っ

て登りとてもきれいな景色を見る事ができました。中には寒いのに海に入る人もいました。

3月25日

午前中はビーズ工房にいき、オリジナルのアクセサリを作りました。お店にはたくさんのビーズがあり、選ぶのに苦労しました。ペアと素敵なアクセサリをつくる事ができました。それは世界に二つだけの特別なものとなりました。そのアクセサリを見ると、今でもNZのことが思い出されます。午後にはプールに行きました。プールの種類はたくさんありました。NZは夏で暑かったので、泳いだらとても気持ちよかったです。

3月27日

この日はさよならパーティーをしました。ワイメアカレッジの先生のジーナ先生でやらせてもらいました。お別れのあいさつをしたり、おいしい料理をいただいたりし、そして私達はポニョのダンスを感謝の気持ちを込めて発表しました。うまいかないところもあったけどお世話になったNZの方に喜んでもらいました。そしてTシャツをペアで交換してみんなでメッセージを書きあいました。とてもよい思い出になりました。

3月28日

ついにホストファミリーとお別れの日。みんな最初は「早く日本に帰りたい!」と言っていたのに「まだ帰りたくない」と思う気持ちの方が大きくなっていました。

私達を受け入れてくれたホストファミリーをはじめ本当にみんなフレンドリーに接してくれてすごうれしかったです。別れはとてもつらかったです。その日はNZの首都オークランドで水族館へ行ったり買い物をしたりし、久々にみんなで夕食を食べながら思い出を語り合いました。

3月29日

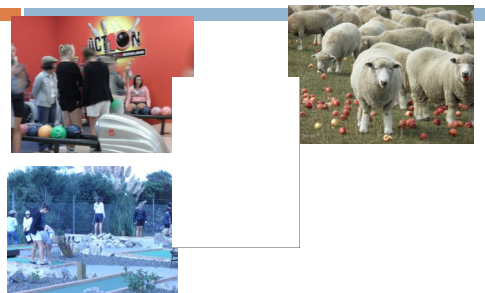
朝はやく起きて空港に行き最終日にお世話になったガイドさんたちに見送ってもらい私たちはNZを旅立ちました。NZでは、色々な方に親切にしてもらいました。そしてこのような楽しい人にも出会えました。なので、日本に帰る日はNZにずっと居たいと思いました。

まとめ

NZでの12日間では初めての体験がたくさんでき、とても貴重な時間を過ごせました。この貴重な時間に関わってくださった全ての方々に感謝しています。

また、私たちがNZに行く少し前にNZと日本で大きな地震がありました。いろいろ不安もありましたが、現地の方々は私たちが日本から来たと知るととても心配し優しい言葉をかけてくれました。さらに、千羽鶴を折って、送ってくれました。私たちはその事にとても感動しました。そしてNZの方から頂いた沢山の優しさを何らかの形で被災地の方々に届けられたいと思っています。本当に自分にとってとても貴重な12日間になりました。

MARCH・22TH



富士見町立富士見中学校

諏訪郡富士見町富士見4654番地

TEL 0266-62-2009

FAX 0266-62-7409

伊藤十三雄

次号も白鈴祭の様子をお伝えする予定です。